



西佐波保育園園児が議場を見学しました

詳しくはP11をご覧ください



新庁舎建設工事(免震装置)見学会に参加しました

免震装置の仕組みや、大型クレーンについて説明を受けました。

新庁舎は令和6年秋に建設工事が終了し、その後、電気機器等の機材等の搬入を行い、令和7年1月に供用開始の予定です。



5月臨時議会

議案の概要 P2

6月定例議会

議案の概要 P3

一般質問 P4～P10

総合交通体系調査特別委員会 P10

議会モニター委嘱状交付式 P10

西佐波保育園園児議場見学 P11

9月定例議会の予定 P12



議会中継がスマートフォンで見られます!

防府市議会



令和5年 5月 臨時議会

予 算

■令和5年度一般会計補正予算

12億5,600万円を増額し、補正後の予算総額を561億3,600万円とする予算案が提出され、可決しました。主な事業は次のとおりです。

・非課税世帯生活応援事業（社会福祉課）

光熱費や食費などの物価高騰で特に影響を受けている低所得世帯（令和5年度住民税均等割が非課税の世帯）に3万円を支給します。（4億7,000万円）

①住民税非課税世帯 8月31日で受付を終了しています。

②家計急変世帯 10月2日まで。

・子育て世帯生活支援特別給付金支給事業（こども家庭課）

光熱費や食費などの物価高騰で特に影響を受けている低所得者の子育て世帯に5万円（子ども1人当たり）を支給します。（1億5,900万円）

①児童扶養手当受給者 5月に支給済。

②影響を受けている世帯 令和6年2月29日まで。

5月臨時議会は5月8日に開催され、議案1件、承認1件、報告4件を審議し、原案どおり可決しました。

・LPガス利用世帯応援事業（くらし環境課）

LPガスを利用している世帯の家計を支援するため、5,000円分（1世帯当たり）の市内共通商品券を配付します。（1億3,800万円）

・LPガス利用事業者支援事業（商工振興課）

LPガスを利用している市内事業者の省エネ対応LPガス消費設備の更新の取組みに対し、対象経費の3/4（上限50万円）を補助します。（5,000万円）

・省エネ家電更新促進事業（くらし環境課）

家庭での省エネルギー化を促進するため、省エネ効果のあるエアコン、冷蔵庫の更新（買換え）費用に対し、購入費（税抜5万円以上）の最大20%（上限4万円）を市内共通商品券で還元します。（1億2,400万円）

・子ども成長応援事業（子育て支援課）

物価高騰により、家計への負担が大きくなっている子育て世帯を支援するため、1万円（中学生以下の子ども1人当たり）の市内共通商品券を配付します。（1億8,000万円）

・公共交通対策事業（政策推進課）

交通系ICカード（ICOCAなど）の普及促進のため、7月から9月末までの間、ICカードを利用したタクシー料金の割引（1乗車当たり300円）を行います。（3,000万円）

・自治会防犯灯整備事業（地域振興課）

電気代高騰により自治会の負担の激変緩和のため、令和5年度の防犯灯に係る電気代について令和3年度分との差額を支援します。（500万円）

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否 No.	令和5年第3回定例会(6月)	会派・議員名																				賛否の合計		議決結果				
		自由民主党										公明党		絆		正論		無所属の会		市民クラブ					日本共産党		早稲田大学 防府一番	
		青木	上田	宇多村	梅本	河杉	曾我	田中敏	橋本	藤村	安村	吉村	河村	高砂	村木	三原	山田	今津	和田	久保	森重	田中健	清水		石村	松村	賛成	反対
1	子どもの医療費助成に関する請願書 ※趣旨採択	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	※1	×	×	2	20	不採択
	子どもの医療費助成に関する請願書 ※原案	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	※1	×	×	1	21	不採択
2	インボイス制度導入の延期を求める意見書	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	12	否決

※1は、退席による棄権

※賛否が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決しました。また、次のページに意見を掲載しています。

※田中敏靖議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

令和5年 6月 定例議会

6月定例議会は6月12日から6月30日までの会期19日間の日程で開催されました。

令和5年度一般会計補正予算をはじめ、市道路線の認定及び変更、工事請負契約の一部変更など議案6件、選任1件、報告11件、請願1件、意見書1件を審議しました。

主な議案等の概要をお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」は、P2をご覧ください。

予 算

■令和5年度一般会計補正予算

4億4,000万円を増額し、補正後の予算総額を565億7,600万円とする予算案が提出され、可決しました。主な事業は次のとおりです。

・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 (新型コロナウイルスワクチン接種対策室)

初回接種（1・2回目接種）を完了した5歳以上の全ての方を対象とした追加接種に必要な体制を確保します。（4億円）

・自転車のまちほうふ 高校生ヘルメット着用促進事業(くらし環境課)

安全基準を満たした自転車用ヘルメットを購入した市内で自転車を利用する高校生に対し、1人当たり5,000円分の市内共通商品券を配付します。（2,800万円）

・観光施設等管理事業（観光振興課）

秋から本格化する観光需要に向け、防府駅、大道駅、富海駅の看板の多言語化など、インバウンド客を始めとする観光客の受け入れのための緊急対策を行います。（1,200万円）

一般議案

■工事請負契約の一部変更

新庁舎建設工事において、設計時の想定よりも地盤が強固であり、岩盤掘削等の追加工事の設計変更とインフレスライド条項の労務単価等の見直しにより、工事請負契約金額を約6億4,000万円増額変更するものです。

請 願

子どもの医療費助成に関する請願書が提出され、審議の結果、不採択となりました。（賛否No.1）

内容 防府市の子ども医療費助成は12歳（小学生）までとなっており、県下の自治体では防府市のみとなっている。当面、対象年齢を15歳（中学生）までに引き上げて欲しい。

請願に対する意見

- ・市は請願を上回る拡充の方針を示しているので採択する必要はない。
- ・市が実行する旨を明言しているため、議会からアクションするものではない。
- ・請願をそのまま認めることは困難であるが、趣旨は妥当と認められるため、趣旨採択すべきである。

意見書

インボイス制度導入の延期を求める意見書が提出され、審議の結果、否決されました。（賛否No.2）

内容 本年10月からインボイス制度（適格請求書保存方式）が始まります。これまで年間売上金が1,000万円以下の事業者は、免税事業者とされ、消費税の納付が免除されていました。コロナ禍の中で物価高騰に加えて、インボイスによる消費税の増税は、中・小零細業者に厳しい経営を強いることになるので、国に景気が回復するまで制度の導入の延期を要望する。

意見書に対する意見

- ・物価高騰とコロナで疲弊した経済状況が落ち着くまで延期すべきと考え、意見書に賛成する。
- ・インボイス制度には4年間の準備期間が設けられているため延期する必要はなく、意見書に反対する。
- ・インボイス制度は中小事業者やフリーランスで働く人たちに経済的、事務的に大きな負担をかける仕組みであるため、意見書に賛成する。

Q&A

一般質問



6月定例議会では、18名の議員が市政について質問しました。

ここでは議員本人が要約した質問と答弁の一部を発言順に掲載しています。また、9月に会議録を製本予定ですので、市役所1号館1階閲覧コーナー、防府図書館、ホームページで見ることができます。

各見出しに掲載されている二次元バーコードから、各議員の一般質問の様子を録画映像でご覧いただくことができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。



会議録はこちら



子ども医療費を含む子育て支援について
新庁舎への福祉総合相談窓口設置について

梅本 洋平（自由民主党）



問 子ども医療費無償化について、自治体独自に無償化する場合、国庫負担金が減額される、いわゆるペナルティについて、高校生までの部分を廃止する方針を国が発表するなど、市を取り巻く環境が変化してきた。子ども医療費無償化拡充について、前向きに検討する時期に来たのではないかと。ご所見をお伺いする。

市長 市では他市にはない施策を「ほうふっ子応援パッケージ」として実施しており、通園、通学の安全確保にも力を入れている。「こどもまんなか社会」の実現に向けて取り組んでいく。子ども医療費については将来を見据え、対象を小学生以下から中学生、高校生

まで拡充したいと考えている。

問 地域福祉計画では「包括的支援体制の整備」を活動目標に掲げ、様々な相談窓口にて市民の悩みに対応していただいている。しかし、その窓口は市内に点在しているのが現状。新庁舎に何でも相談できる福祉総合相談窓口があれば、より市民に愛される市役所になると思うが、ご所見をお伺いする。

市長 市民の皆様が抱える課題を丸ごと受け止めることができる相談支援体制の構築が必要だと考えている。社会福祉協議会を新庁舎へ移転することを活かし、庁舎棟2階に福祉総合相談窓口を設置する。新庁舎でスムーズに運営ができるよう、来年4月には現庁舎において試験的に窓口を開設する。



防府市の新たな農業への挑戦

今津 誠一（正論）



問 いま世界的食糧危機が危惧されている。日本は食糧自給率が低く、早急な食糧安全保障の確立が迫られている。国は「環境と調和のとれた食糧システム戦略」を打ち出した。これまでの農業・化学肥料・除草剤を多量に使用する慣行農業から、これらを漸減する有機農業を拡大する考え。防府市もこのような新たな農業への挑戦をすべき。栃木県に民間稲作研究所を立ち上げた稲葉光國氏が開発された、農薬も化学肥料も除草剤も一切使用せず、コメを栽培する、環境と共生する循環型有機農業を紹介する。

この農法の特徴は、一旦田植えをしたら、田んぼに入ってわざわざ草取りをしたり、除草剤を撒いたりしないで

済む抑草技術を開発したこと。これによって省力化と生産コストの削減、規模の拡大化、安全で美味しいコメの生産に道が開かれた。この循環型有機農法の技術を取り入れて、我が市の有機農業の拡大に活用されたい。

市長 議員御案内の稲葉流循環型有機農法は、無農薬の有機稲作農業で理想的な農法と認識している。ただ西日本地域で導入するにはウンカ等の害虫被害が発生するなどの課題があると認識している。

意見 無肥料・無農薬の有機農法では田んぼにウンカは発生しない。

愛媛県の有機農産協会は、無農薬の有機栽培と農薬を散布する慣行栽培を比較してコメを栽培した。前者は全く問題なく育ったが、後者は甚大な被害を被るという結果が出た。インターネットでその比較写真を見ることができる。



組織改編による市民生活の向上と 本市の成長戦略について

河村 孝（公明党）



問 本年度、組織改編で文化スポーツ観光交流部が発足。文化財を積極的に活用した観光振興を。英雲荘では、お抹茶の提供。ソラールでは、市内外からの子どもたちの社会見学の昼食等対応の充実や常設展示の改修、企画展の充実による観光やキャリア教育としての充実を。

市長 文化財をインバウンド需要にも対応した体験型コンテンツ等の開発を進め、誘客拡大を図る。英雲荘は、毛利氏庭園等と連携したお抹茶・着物体験等、観光客をひきつける取組を充実。ソラールは、未来の科学者を目指す子どもが集う全国に誇れる科学館にしたい。



空き家の活用施策について！ ◆学校における働き方改革と施設運用について！

山田 耕治（絆）



問 危険な空き家以外の空き家で、相談を受けている件数と特定空家等の件数の推移は？

市長 空き家に関する市への相談件数は、令和3年度が644件、4年度が451件、5年度5月末で86件。また、特定空家の認定は5件あり、4件が解決に至っている。

問 空き家の対応状況や情報を市のホームページに掲載すべきでは？

市長 専門家による空き家の流通診断や、危険性診断を効果的に行うための仕組みづくりを進めている。その状況等をホームページに掲載する。

問 企業と自治会、行政の三者による空き家対策プロジ

問 こども家庭統括室の新設で、妊娠前から出産、子育てまでの切れ目ない支援は、どうなるのか。歯科検診が妊婦健診の検査項目ではないという若い女性の声もある。他市と比べても負けない、切れ目ない支援を。

市長 国の「こども未来戦略方針」に合わせ、医療費無償化の高校生までの拡充や妊婦歯科検診なども含め、関係団体から意見を聞き、施策の充実を図る。

問 木育等、カーボンニュートラルのさらなる前進を。

市長 「オール防府」で積極果敢にチャレンジする。

問 広報戦略の強化を。特に、視覚障がい者や高齢者にも読みやすい「ユニバーサルデザインフォント」「インクルーシブデザインフォント」の採用の検討を。

市長 該当のフォントは、市広報8月号では一部頁に採用し、意見募集をする。広報では、全国の「防府ファン」へ本市の魅力を届ける。

エクトを企画し、家財処分に対する補助ができないか？

市長 空き家問題については、自治会や企業の様々な意見を聞きながら、納得していただける制度としたい。

◆学校における働き方改革と施設運用について！

問 全国的に教員の数が増減している。本市の現状は？

教育長 小・中学校で各1名ずつの欠員。児童・生徒に影響がないよう校内体制を整え、代替教員を探している。

問 緊急時、子ども達が使う公衆電話の設置状況と周知は？また、故障している学校があると聞くが対応は？

教育部長 設置しているのは20校、設置していないのは7校。故障している公衆電話は早急に直したい。

問 各学校の駐車場が少ないのでは？

教育部長 昨年度は2件の要望を受け

ており、優先順位をつけて対応したい。



運動場に残る轍を、子ども達と一緒に整地



LGBT法成立、一般女性のスペース守ろう！学校給食の 米は防府産で！公共事業で出る肥土は次世代に継承を！

石田 卓成（日本の再独立を目指す会）



問 エマニュエル駐日米国大使からの内政干渉を受け国会で審議されてきたLGBT法案が、多くの分断を生む中であって成立してしまったが、女性トイレを減らされたり、共用になってしまうのではないかと不安の声が後を絶たない。市役所新庁舎や公共施設では、一般女性の権利を守ると宣言して欲しい。

健康福祉部長 全ての方々の人権を尊重する立場から、性的少数者だけでなく、また、シスジェンダーの女性に限らず男性も含め、様々なご意見に耳を傾け、不安の解消に努める必要があると考えている。

問 学校給食で使う米は防府市産限定にして欲しい。

市長 地産地消や食育の推進の観点においても、とても大切であり、特に、お米については当然の姿だと考えている。令和元年の天候不良により不作となって以降、学校給食センターの入札条件を、可能な限り防府市産としていたが、量が確保できる確認が取れたことから、来月分の給食から防府市産のお米を提供する。将来にわたって、作況指数が悪い年でも、防府市産のお米を100%提供できるよう、農業施策にしっかりと取り組んでいく。

問 公共事業で出る肥土は、先人達からの贈りものであり、我々百姓の血と汗の結晶と言っても過言ではない。そのまま埋め立てたり、処分をするのではなく、次の世代に継承をして欲しい。

土木都市建設部長 ほ場整備での再利用や、新規就農者が活用できるよう関係部局と調整していく。



庁舎建設について

上田 和夫（自由民主党）



問 庁舎建設は、庁舎棟の工事が進められ1号館と4号館の間に基礎部分が姿を現してきている。おおむね順調に工事は進んでいるが、コロナ禍やウクライナ侵攻等により原油価格や物価、建築資材や人件費も高騰している。そのための変更契約は、インフレスライド条項を適用した建築主体工事事業費の変更。また、地盤が強固で杭工事が難航し、工期にも影響を与えていると聞いている。一方、運営面は、市民の皆様が利用される窓口を低層階に集中的に配置し、福祉関係の部署と社会福祉協議会を同一階にし、利便性を考えた計画になっている。現時点で想定される新庁舎の供用開

始に向けた今後のスケジュールは。

市長 基礎工事の際、強固な岩盤が存在し、基礎杭の設置に時間を要したことから、当初の予定よりも工期が延びる見込みである。最終的な工期は、令和6年9月に建物が完成し、引き渡しを受ける。その後、配線等の工事を行い、11月初旬には竣工式を実施。庁舎全体の引っ越し後、令和7年の年明けには新庁舎で市民の皆様をお迎えする。低層階には窓口部門を集中的に配置し、「スマート窓口」を実現。本館と福祉棟を同一階で接続し、県の施設も合築されることから、市民サービスが向上。また、市と県の業務時間の統一化など、「日本一の市役所」にする。



1.防災ネットワークの構築について 2.誰もが投票しやすい環境づくりについて

村木 正弘（公明党）



問 県立総合医療センターの建て替え候補地として、市が整備を進める佐波川右岸広域防災広場の隣接地が適地との考えが県から示された。両施設の相乗効果による広域防災広場の強化も期待される。防災ネットワーク全体の充実に向けてのご所見を伺う。

市長 県内唯一の基幹災害病院である同センターとの相乗効果で、内陸部における広域防災広場の機能は強固なものになる。令和7年の年明けには、防災の中核拠点になる新庁舎が完成。メバル公園、キリンレモンスタジアム、向島運動公園、三友サルビアホールと一体となった新たな防災広場や道路網の整備により防災ネットワークを構築す

る。避難所となる小・中学校も機能強化をしていく。今年は関東大震災から100年の節目、平成21年の豪雨災害などの体験・教訓を未来へつなぐ防災展の開催や、小・中学校での訓練等、防災力の向上にしっかり取り組んでいく。秋には防災シンポジウムで、防災ネットワークを活かした防災の重要性について市の考えを私が皆様にお伝えする。

問 高齢者や障がい者が投票する時に、事前に手伝ってほしい内容にチェックを入れ、入場券と一緒に職員に渡し投票する「投票支援カード」を導入してはいかがか。

選挙管理委員会事務局長 現状では支援して欲しい内容を口頭で職員に伝える必要がある。投票支援カードは、選挙人の方が事前に対応して欲しい内容をカードに記入し、受付で提示することで、よりスムーズに投票できる有効な手段として承知している。全国での導入事例を参考に、障がい福祉担当部署等と連携し検討していく。



防府市の農地の現状 帯状疱疹ワクチン費用の助成について

宇多村 史朗（自由民主党）



問 防府市の農地の現状・維持について、農地調査のためのGPS機能付タブレットの活用及び増強配付について

市長 県の「農林業の知と技の拠点」を有する市としての強みを最大限に生かし農業振興に取り組む。本年3月末での市の全農地面積2,705haの内、遊休農地は138ha。本市は営農法人等の強化、担い手の支援、ほ場整備などに取り組んでいる。本年度から担い手への農地集積の支援制度も創設。農業公社と地域おこし協力隊による「防府モデル」の耕作放棄地対策を構築する。また、地域の実情に応じた、今後10年後の農業

の在り方や農地利用の姿を明確化した「地域計画」の策定に向け取り組む。

農業委員会事務局長 タブレット配付については、昨年8月から農業委員2人に1台配備している。今後、使用実態を見極め、1人1台となるよう配備を進める。

問 帯状疱疹ワクチン費用の助成について

健康福祉部長 発症予防には、良質な睡眠、バランスのとれた食事、適度な運動など、規則正しい生活で免疫力を高める日々の健康づくりが重要。7月1日号の市広報で周知する。帯状疱疹ワクチンは、希望される方が各自で受ける任意接種となっている。現在、国において、予防接種法に基づく定期接種化に向けての議論がされていることから、定期接種に位置付けられた際には、インフルエンザワクチンと同様、状況を見ながら市としての費用助成について検討する。



観光V字回復に向け、観光振興の更なる取り組みについて

河杉 憲二（自由民主党）



問 観光のV字回復に向け、国内外からの更なる誘客に取り組んでいく必要がある。現在の取り組み状況は。

市長 新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、この機をチャンスと捉え、観光コンベンション協会と一体となり取り組んでいく。防府天満宮をはじめ、すごいぞ4施設を中心に、しっかりと売り込んでいきたい。今年度、新たに広報戦略室を設置し、様々なテレビ番組で取り上げられるようPRに努める。

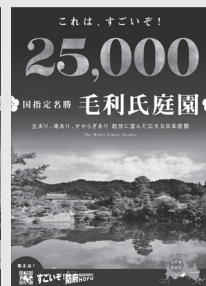
インバウンド事業では、天満宮芳松庵の抹茶体験など、在日外国人のモニターツアーを実施するほか、韓国や台湾の旅行会社にも売り込んでいきたい。

問 防府駅や主要観光地に観光案内の看板を設置するなど受け入れ態勢づくりも必要と思うがどうか。

市長 防府駅の観光案内所や駅周辺観光案内図、主要観光地の看板のリニューアルや防府駅、大道駅、富海駅に多言語歓迎看板を設置したい。

問 令和9年「御神忌1125年式年大祭」に向けた天満宮周辺の魅力の向上についての取り組みはどうか。

市長 天満宮から、らんかん橋の通りや山頭火ふるさと館前の通りに愛称を付すほか、和歌や俳句などを活用した天満宮周辺に相応しい空間づくりをしていきたい。



1. 大道公民館の更新を 2. 小・中学校のトイレ洋式化を 3. 身寄りがない方への支援を

高砂 朋子（公明党）



問 「学ぶ・集う・繋ぐ」ための公民館、出来ることを積極的にPRし、地域の方々が気軽に立ち寄り、何でも相談が出来る公民館を目指していただきたい。大道公民館は、出入りに注意が必要、高齢者、障害者の方は利用しにくく、手狭である。今後の更新の考えは。

市長 公民館で様々な手続き、相談ができ、地域の課題も解決できるよう、地域コミュニティ活動や子育て支援の拠点となるようPRし、公民館の在り方を整理する。大道公民館は、移転・建替を急がなくてはならない。今後、検討を進めていきたい。

問 文科省調査（R2.9）では、小中学校のトイレ洋

式化率は本市30.9%、県内13市中11位。衛生環境確保のためのトイレ洋式化・乾式化は、学校施設のスタンダード。一基でも多く、まずは低学年から洋式化を。

市長 時代の流れや子ども達のニーズに合せ、最低限必要な和式を確保し、全てのトイレを早急に洋式化する。

問 今後、身寄りのない高齢者はさらに増加し、社会的孤立を防ぐため、支援体制の充実が喫緊の課題。各関係機関、部署の支援だけでは埋まらない隙間への支援体制の構築が必要では。エンディングノートの更なる普及を。身寄りがなく多く、居宅での生活が困難な低所得の高齢者等に対する受け皿として、市内唯一の措置施設である養護老人ホームへの支援を。

健康福祉部長 新庁舎に入る成年後見センターを中心に各関係機関との連携を強化。エンディングノートも普及啓発。措置施設としっかり連携していく。



家庭ごみの自主搬入について 観光等の案内について

森重 豊（無所属の会）



問 防府市では、地区ごとに家庭ごみ収集方法等が決まっているが、誰でも、いつでも搬入する場所の確保ができないか？

生活環境部長 資源ごみの排出方法は、地区ごとの集積場所やクリーンセンターへ直接持ち込み。また、市内回収業者やスーパー等の回収ボックスへ搬出できる一定の環境は整っているが、全てがいつでも出せる環境ではない。

今後も資源ごみ等の排出機会をより多く確保できるよう、引き続き、関係者との協議を行い、持ち込みが可能な期日等の情報をしっかり周知していく。

また、まちづくりを進めていく中で、市有地への設置についても、調査・研究していく。

問 市内観光マップで、周辺隅々まで思いやりを持って案内ができないか？

市長 本市の観光地につきましては、防府4施設をメインにイベント等を幅広く紹介しており、最新の情報についてはSNSや観光情報ポータルサイトにより発信している。しかし、「佐波川こいながし」などのイベント情報や「メバル公園」など最近オープンした施設等が掲載されていないことから、今後は、「ゆうゆう広場」など、新たな人気施設についても表示し、「ふるさと思い出花火」など新しいイベントを季節ごとにまとめたイベントカレンダーを併せて作成することとしている。また、周辺から見た防府観光案内看板の設置についても検討することとし、きめ細かな観光案内に努めていく。



防府市鳥獣被害防止計画について 部活動の地域移行について

久保 潤爾（無所属の会）



問 本年度が計画の最終年度となるが、被害軽減目標の達成状況と、これまでの取組と成果について伺う。

市長 数値目標は達成している。今後は捕獲の担い手の不足が考えられるので、人員の確保に努めていく。

問 来年度以降も取組みを続けていくのか。

市長 イノシシやサルの被害は減っているが、アライグマやヌートリア等の被害は増加しており、これらの鳥獣被害に対応した新たな計画を策定する。

問 法の特例措置で狩猟免許を所持していなくても捕獲ができる制度があるが、市内での事例はあるか。

産業振興部長 佐波川漁協に許可を出している。



防府の特産品やお土産って何だろう？ 全国に通用する一品を作って！鱧は？

松村 学（防府一番）



問 コロナが5類引き下げとなり、観光地やインバウンドのV字回復の兆しがある中、食の観光が特に人気である。防府では全国に通用する特産品やお土産品がない。全国屈指の水揚量を誇る防府の鱧は和食に限らず、鱧カツ、鱧バーガーなど市内の和洋中の飲食店でたくさん提供されている。今こそ、防府を「鱧のまち」にするために、鱧マップ作成と鱧取扱店全店にのぼり旗を配布し、鱧のまちを盛り上げ、全国にPRできないか？

市長 天神鱧の弁当販売やハモフェスなどに取り組んでいるが、「鱧のまち防府」と認められるには十分と言えないので、のぼり等はもちろん、旅行会社やテレ

要望 新たな計画には、特例措置の活用も盛り込んだ上でしっかりと取り組んでいていただきたい。

問 令和7年度末の部活動の完全移行に向けての進捗状況は。

教育長 管理事務局を設置し、各団体、学校にヒアリング調査を行い、事態把握や情報収集に努めている。

問 保護者の負担が増えると考えられる。

教育長 指導者への謝金等の負担が予想される。先行事例を参考にしながら、調査、研究していきたい。

問 児童・生徒等への周知は？

教育長 リーフレットをできるだけ早い時期に配布し、ホームページでも公開することで周知に努める。

問 部活動に所属しない生徒が増えることも考えられるが、このことは進学に影響しないのか？

教育長 公立学校においては、現行では不利になることはない。

ビ番組で取り上げてもらう。早速、7月25日にKRYで放送の「鉄腕DASH」で取り上げられる。「防府観光早わかりマップ」で鱧取扱店を掲載する。

問 以前、大手メーカーが防府の鱧の土産品を開発され、全国に天神鱧の知名度が高まった。大手メーカーの発信力、販売網を活用するため、大手メーカーのコンペか有名なパティシエや料理人に監修してもらい、一気に全国で有名になる土産品を開発できないか？

市長 防府天満宮御神忌1125年式年大祭に向けたお土産づくり、メバル公園にちなんだお菓子の開発などの動きがあり、広くPRしていく。話題性やインパクトのある取組も必要であり、観光行政全般で考える。

要望 農作物のブランド化とその販路拡大や製品開発に向け努力して欲しい。



高齢化⇒市営住宅手すり入居者の要望に応じる 指導、監督機関が決まっていない地域部活動

三原 昭治（絆）



問 市営住宅においても高齢化が進展しており、エレベーターや手すりの設置などのバリアフリー化が求められているが、既存、新設住宅への対応は。

市長 新築時には、エレベーターや手すりの設置など、高齢者などに配慮した建物としている。既存住宅には、共用部分のすべてに手すりを設置。住み替えになった部屋には、玄関や浴室、トイレに手すりを設置して対応している。

問 住み替え時の手すり設置に加え、入居者の要望に対し、対応すべきでは。

市長 必要性に応じ、対応する。

問 地域部活動における調査で、現在、中学生の約9割が部活動に参加しているが、移行後の参加意向が5割となっている理由は。

教育長 練習会場などが学校から離れていることでの移動負担やクラブ費などの費用負担があることが原因と考えている。

問 指導者の資格についての考えは。

教育長 地域における社会教育となることから、資格を取るよう指導していく。

問 金銭的な負担や移動の負担などから、取り残される子どもが出ることが懸念されるが。

教育長 一番危惧しているところで、軽減を考えている。

問 行き過ぎた指導などについて、指導、監督は、どの機関が行うのか。

教育長 まだ、はっきり決まっていない。



通学用かばんについて 熱中症対策について

和田 敏明(正論)



昨年度に引き続き、今年度も『安全・安心、通学時の負担軽減と費用負担軽減』を目的に通学用かばんが新一年生全員に支給されることから、私は、通学用かばん支給事業をお祝い金支給制度へ変更する修正案を提出したが否決されたため、使用実態について質問した。

問 各学校の何名中何名の新生が支給したかばんで来たのか。

教育長 入学式は全体の約18%、6月は約16%であった。

問 市広報6月1日号に「みんな一緒のかばんで嬉しい」などの喜びの声と記載されているが、どれくらい声があったのか。

総合政策部長 把握していない。

意見 市広報は全市民に伝達する公共の紙媒体であり、あたかもこのような声が多数あったとの誘導に思える。これでは市の情報が信用できない。

問 通学用が、突然、校外活動等も含む使用に変更されたが、実際に使用されているのか。

教育長 確認していない。

問 無責任ではないか。では1,650万円もの公金を投じた通学用かばんは一体どこに行ったのか。

教育長 今後も継続したい。(あまりにもズレた答弁)

意見 現在、校則でも問題とされているが、新たなもので児童を強制したり強要することはいかなるものか。

問 熱中症対策として、私は様々なグッズ等を提案する中でも、日傘が最も適していると判断しているが、全児童に子ども用の日傘を配布してはいかがか。

市長 教育委員会から実態を聞いて対応させたい。



子どもの医療費無償化を 高校卒業まで拡充

清水 力志(日本共産党)



問 新型コロナウイルス感染症法上の位置づけがこれまでの2類相当から5類に移行したが、移行後の対応は。

市長 現在は市内41の医療機関でワクチン接種をしている。状況に応じた感染対策をしていく。

問 時として「コロナは終わった」と錯覚されがちである。警戒の必要性など科学的で正確な情報発信の強化を。

健康福祉部長 ホームページで様々な情報を周知。必要に応じて情報発信の改善をしていきたい。

問 子どもの医療費無償化の拡充を。



健康福祉部長 医療費の無償化を高校生まで拡充する。

問 入院、通院の種類や所得制限を設けずに、全ての子どもを対象にお願いしたい。

健康福祉部長 所得制限や一部負担を設けることは考えていない。

問 県教委は今年度、中学2・3年生の1学級の人数上限を35人から38人に変更した。市内で対象となった中学校の数と35人学級と比べて減少した学級の数。

教育長 中学校2校で38人学級となり、それぞれ1学級ずつ減っている。「教育のまち日本一」を目指す市として、38人学級になったことは大変残念に思う。

問 年度途中でも教員の配置をして、35人学級に戻すように市教委からも県教委に対し要望するべきでは。

教育長 来年度は35人学級に戻すように強く要望する。



新型コロナ感染症の医療体制を 子どもの医療費の無償化を

田中 健次(市民クラブ)



問 新型コロナ感染症は、5月8日に5類へ移行したが、医療体制はどうなるのか？

市長 外来は、インフルエンザと同様に一般的な医療機関での受診が可能になり、入院も、コロナ病床を確保した受入医療機関に限定されていたが、病床のある全ての医療機関への入院が可能となった。

問 国は、入院医療体制と入院調整機能の円滑な移行を図るために、9月までの「移行計画」の策定を県に求めているが、どのような内容になっているのか？

市長 防府市では県立総合医療センターなど3病院がコロナ病床を確保する病院となっており、入院の調整

は、県の調整から医療機関間での調整となった。調整困難なケースでは、県が広域的な調整を行う。

問 防府市では、医療費の無償化は、通院・入院とも小学校までで、県内他市と比べて後れを取っている。今後、改善を検討すべきではないか？

健康福祉部長 所得制限と一部負担金を設けないで実施している医療費助成の対象を高校生まで拡充する。今後、医師会等のご意見を伺いながら準備を進めていく。

その他の質問項目

◆文化・スポーツ施設に高齢者割引を

◆集合住宅に行政情報等に関する掲示板の設置を





キャッシュレス決済・UJIターン・CHAT GPTについて

吉村 祐太郎（自由民主党）



問 防府市では、公共交通機関のキャッシュレス化が進みつつあるが、主要観光施設では導入されているのか。

市長 主要観光4施設では、阿弥陀寺を除く3施設が導入済みか近々導入予定である。その他の観光施設については早急に導入がされるように働きかけていく。

問 UJIターン事業では、PRを効果的にする事が重要であるが、梅本議員への答弁にあった高校生までの医療費の無償化を、いつから実施するのか明確にしてPRするべきである。UJIターンの現在の取り組みはどうなっているのか。また、PRも含めた今後について

ではどう取り組んでいくのか。

市長 高校生までの医療費無償化についてはシステム改修の関係から、来年10月に開始したいと考えている。また「ほうふっ子応援パッケージ」も併せてしっかりとPRしていく。

問 小・中学においてCHAT GPTはどの様に取り扱うのか。

教育長 今後、文科省からガイドラインが公表されるので、それに基づき、プロジェクト「チームDASH」を中心に調査・研究していく。



総合交通体系調査特別委員会を開催

【地域公共交通計画（案）の策定について】

5月23日に委員会を開催し、主要幹線道路網の整備状況と今後のスケジュールについて、及び地域公共交通計画を策定するに当たって実施したアンケート結果、公共交通事業者へのヒアリング結果と、これらを踏まえた公共交通の課題と次期計画の基本方針（骨子案）等について、執行部から説明を受けました。

問 国道2号台道4車化について、地権者、地域住民等の関係者の声の集約、及び周知をどのように行うのか。

答 事業化となれば説明会を開催し、関係者の声をお聴きするとともに、機会あるごとに市広報等で情報を発信する。

問 公共交通の課題として記載された「コンパクトな

まちづくりに資する公共ネットワークの形成の必要性」とはどういったことか。

答 立地適正化計画に基づき、公共交通においても、防府駅を中心とした都市核と周辺地域の地域核を結ぶネットワークの構築の必要性を示したもの。

問 高齢者や障害者はバスを利用する際、小銭を用意するのが大変である。ICOCAを利用した運賃助成を検討してみては。

答 ICOCAでの運賃割引は、交通事業者の費用負担、運用面での人的負担があるとお聞きしている。全国で少しずつ取組が開始されているので、今後事例の研究を行っていく。

問 バス、タクシーの運転士不足が問題となっている。運転免許の取得費用を補助するなど、対策を考えていただきたい。

答 公共交通は地域の移動手段であるため、ご意見を参考にしながら、事業者とともに引き続き検討する。

議会モニター委嘱状交付式を開催

防府市議会では、市民の意見を広く聴取し、議会活動及び委員会活動に反映させるため、防府市議会基本条例第20条（議会モニター制度）を受けて、2月に議会モニターを募集しました。

6名の市民の方を議会モニターとして委嘱することを決定し、4月6日に議会棟議場で委嘱状交付式を開催しました。

議会モニターの皆さまは、市議会の仕組みや、議会モニターの役割等についての研修を受けられました。

任期は2年間で本会議を始め、各委員会を傍聴され、

本会議インターネット中継やホームページ、議会だより等をご覧になり、ご意見等をいただくこととなります。



西佐波保育園園児が議場を見学されました

5月19日に西佐波保育園の園児30名が議場を見学されました。この度の見学では、「人、自然、場所をどんな人がどのように守っているか」をテーマに、議場のほかに市の庁舎内も見学されました。

議場では市民を守る為の話し合いが行われていることを説明しました。

園児たちは、議場内のモニターを見たり、議長席に座ったり、議員席のマイクで声を出したり、様々な体験をし、とても喜んでいました。



政務活動費の収支報告書の閲覧ができます

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付されるものです。政務活動費を充てることができる経費の範囲や使途基準等は、「市議会政務活動費の交付に関する条例」によって定められており、全議員が規定に従って適正に使用しています。

防府市議会では、議員1人あたり年間25万円を政務活動費として各会派に交付しており、交付翌年度の4月末日までに領収証等の必要書類を添えて収支報告書を議長に提出し、残余があれば返還します。平成29年度以降の政務活動費収支報告書については、どなたでも閲覧することができます。

【閲覧方法】

日時：市役所開庁日の午前9時～正午、午後1時～午後5時

申請場所：市役所議会棟議会事務局

手続：収支報告書閲覧請求書に必要事項を記入

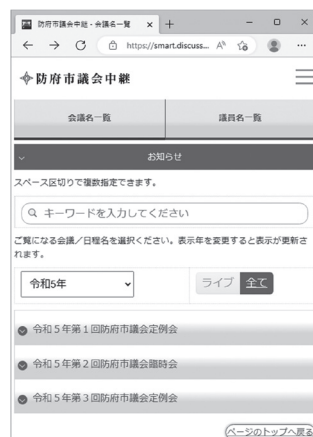
【閲覧にあたっての注意事項】

- ①カメラ、コピー機器、危険物等を閲覧場所に持ち込まないこと。
- ②指定された場所以外では閲覧は行わないこと。
- ③収支報告書は丁寧に取扱い、破損、き損又は加筆等の行為は行わないこと。
- ④音読、談話、飲食等、他の閲覧者の迷惑になる行為は行わないこと。
- ⑤書類の返却の際は、係員の確認を受けること。
- ⑥その他、係員の指示に従うこと。

タブレット、スマートフォンなどで本会議の中継がご覧いただけます

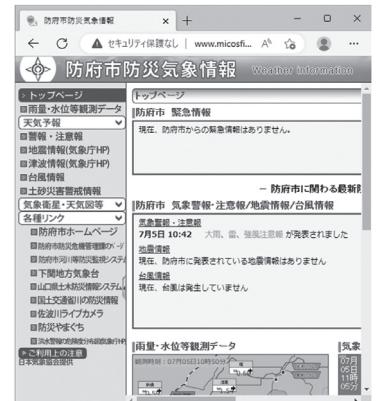
防府市議会中継

本会議のライブ中継や過去の録画をご覧いただけます。



ホームページの紹介 防府市防災気象情報

防災危機管理課からのお知らせや、気象注意報、警報、地震情報、雨量・水位等の観測データ、雨雲の様子や台風の進路等が確認できます。





5月

8日 臨時議会
23日 総合交通体系調査特別委員会

6月

6日 勉強会
7日 議会運営委員会
12日 6月定例議会開会
広報編集委員会
16日 本会議（一般質問）
19日 本会議（一般質問）
20日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
22日 予算委員会（全体会・採決）
議会改革推進協議会
23日 常任委員会（総務）
26日 常任委員会（教育民生）
27日 常任委員会（産業建設）
30日 6月定例議会閉会
広報編集委員会
太陽光発電に関する条例検討協議会

7月

7日 教育民生委員会（所管事務調査）
11日 広報編集委員会
13日 総務委員会（所管事務調査）
15日 新庁舎免震装置内覧会
24日 広報編集委員会

8月

3日 産業建設委員会（所管事務調査）
4日 山口県市議会議員研修会
7日 意見交換会（小野地域）
22日 デジタル推進調査特別委員会
29日 勉強会
30日 議会運営委員会

9月定例議会の予定

9月4日（月） 本会議（開会）

6日（水） 上下水道事業決算特別委員会

11日（月） 本会議（一般質問）

12日（火） 本会議（一般質問）

13日（水） 本会議（一般質問）

19日（火） 予算委員会（全体会）

20日（水） 常任委員会（総務・教育民生・産業建設）

22日（金） 一般・特別会計決算特別委員会（総務）

25日（月） 一般・特別会計決算特別委員会（教育民生）

26日（火） 一般・特別会計決算特別委員会（産業建設）

29日（金） 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



議会事務局 TEL (0835) 25-2182

訂正とお詫び

ほうふ市議会だよりNo.69号（令和5年5月15日発行）の3ページ「人権擁護委員候補者の推薦」の氏名（ふりがな）に誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。正しくは、下記のとおりです。

（正）^{むらた}村田 ^{しゅうこ}晶子さん

編集後記

「西佐波保育園園児の市議会議場見学」

市議会では子どもから高齢者の方まで、議会を身近に感じていただけるように様々な取組みを行っています。かわいなお客様の訪問に議会もパツと明るくなりました。防府の未来を担うこの子ども達の中から議員が誕生してくれることを期待しています。

「新庁舎建設工事（免震装置）見学」

防災市役所の肝である免震装置は建物寿命の間は更新しなくても大丈夫であり、また更新が可能です。体験装置で東日本大震災レベルの激しい揺れの体験後、免震装置設置後の揺れは赤ちゃんのゆりかご程度で安全です。

閉会中の議会の取組みを表紙でご紹介させていただきました。広報編集委員会として市民の皆様理解が深まる紙面を目指しています。ご意見、ご要望があれば、お気軽にお寄せください。

議会広報編集委員会（◎委員長、○副委員長）

◎松村学 ○吉村祐太郎 高砂朋子 橋本龍太郎 藤村こずえ 安村政治



全国市議会議長会及び
中国市議会議長会 表彰授与式